

東大野球部 メールマガジン

VOL
137

〇いあつち

春の陽気が待ち遠しい今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。東大野球部では、昨日からバッテリーが寒い東京を離れ、暖かい沖縄にて合宿を開始いたしました。昨年よりも長期間のバッテリー合宿で、試験などの都合のため下級生の割合が多くなっています。来たる春季リーグ戦にて怪我なく力を発揮できるように、十分に準備を進めてまいります。

今後とも東大野球部への応援をよろしくお願いいたします。



〇今後の日程

〈合宿〉

2月9日～3月2日

沖縄バッテリー合宿 @石嶺球場ほか

〇今回の特集「鬼」

先日2月3日は節分でした。そこで節分にまつわる話題として、今回は「鬼」についての特集です。自分にとっての厳しい存在や練習といった、それぞれにとっての「鬼」を教えてくださいました。

三木 豪(新4年・投手・県立多摩)

僕にとつての「鬼」は、この冬続けてきたランニングメニューです。野球を15年続けてきた僕にとつて毎年トレーニング期間となる冬は憂鬱でしたが、今年の厳しさはどの冬にも勝るほど恐ろしい量・キツさです。しかしようやく春が近づいてきて、今年もなんとかこの鬼のような期間を乗り越えることができそうです。鬼に打ち勝った力をリーグ戦で発揮できるよう頑張ります。



横田 悠天(新4年・外野手・学芸大附)

自分にとつての「鬼」は、ケガです。今、肩のケガもありますが、このケガを治し、これ以上ケガのないように色々な面でアンテナを張っていかうと思います。鬼は外、福は内つまり、ケガなく、プレーができるようにやっつけていこうと思います。



杉本 幹太(新2年・外野手・金沢泉丘)

僕にとつての「鬼」は、学童野球時代の監督、コーチ陣です。鬼という言葉には語弊があるかもしれませんが、基本的には優しく、時には鬼のように厳しく指導していただきました。練習のなかで1番心に残っているのは、鬼のようなプレッシャーの中でスクイズやエンドランなどの戦術の練習をしたことです。練習でのプレッシャーに比べれば、試合の方が楽にプレーできたことを覚えています。

そんな素晴らしい「鬼」には感謝の気持ちでいっぱいです。



溪 亮（新2年・投手・浅野）

僕にとつての「鬼」はズバリ、中西助監督です。中西助監督は、キャッチボールをしている時、ブルペンで投げている時、ピッチャー陣それぞれの球を常にチェックしています。それだけでもなかなか緊張感があるのですが、不調や痛みを隠して投げようものなら、ものの数球で見抜くことができるようで、その日中には中西助監督から安否確認のラインが届きます。いろいろな意味で恐ろしい存在です。とはいえ、僕自身、中西助監督のご指導により、球を投げることの何たるかを理解し始めることができています。根気よく中西助監督についていき、勝ちに貢献できる投手になりたいと思います。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。選手それぞれにとつての厳しい存在を教えてくださいました。春季リーグ戦の開幕まであと2か月です。こういった厳しい存在を克服しながら、春に冬の成果を存分に発揮できるよう、バッテリーは沖繩で、バッテリー以外は東大球場にてそれぞれ励んでまいります。今後とも、東大野球部をよろしく願っています。



お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等

ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。